

# 岸ノ上高架橋PC上部工 工事(ストラバーグ工法)

Construction of KISHINOUE Viaduct

川田建設(株)・大阪支店

## 1. 工事紹介

国道30号は、国道2号(早島I.C)から本州四国連絡橋・児島～坂出ルートを経て国道11号(坂出南I.C)に至る、延長37.5kmの自動車専用道路である。

岸ノ上高架橋は、その国道30号本州側陸上部のほぼ中央部の倉敷市児島稗田町に位置し、鷲羽山スカイラインと併走する橋長351mの上下線2連のPC橋梁である。

本橋の施工方法であるが、標準断面の5径間PC2主版桁はストラバーグ可動支保工によって行い、近傍にバス停留所設置計画のため、拡幅部を有する4径間PC3主版桁は2主桁をストラバーグ可動支保工により施工した後、他1主桁をNT梁、支柱式支保工によって施工し、横締め緊張によって一体化するという形式を採った。

## 2. 工事概要

工事名：一般国道30号 岸ノ上高架橋

PC上部工工事

構造形式：5径間連続PC2主版桁

4径間連続PC3主版桁

橋 格：一等橋 (TL-20, TT-43)

橋 長：351 m

幅 員：10.75 ~ 17.661m

支 間：38.4 + 3 @ 39.0 + 38.4m

38.4 + 2 @ 39.0 + 38.4m

工 期：昭和61年2月～昭和63年1月

発注者：本州四国連絡橋公団 第二建設局

施工者：大成建設(株)・川田建設(株)共同企業体

主要材料：

コンクリート；8036m<sup>3</sup> ( $\delta_{ck}=400\text{kg}/\text{cm}^2$ , 早強)

547m<sup>3</sup> ( $\delta_{ck}=240\text{kg}/\text{cm}^2$ , 普通)

鉄 筋；853ton

P C 鋼 材；289ton(縦方向 SEEE工法)

80ton(床版横締SEEE工法)

15ton(横桁横締VSL工法)

支 承；171ton

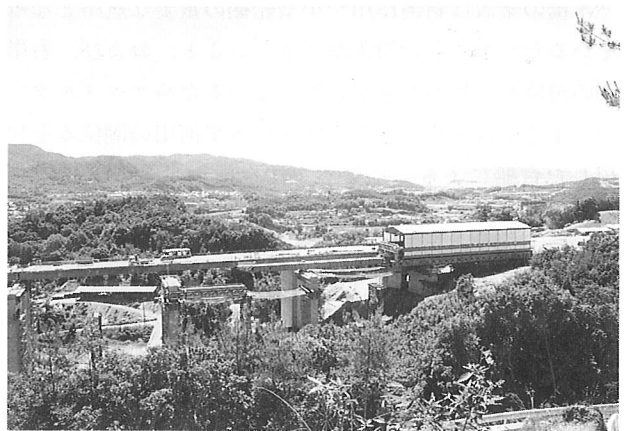


写真-1 下り線施工完了後、上り線施工中

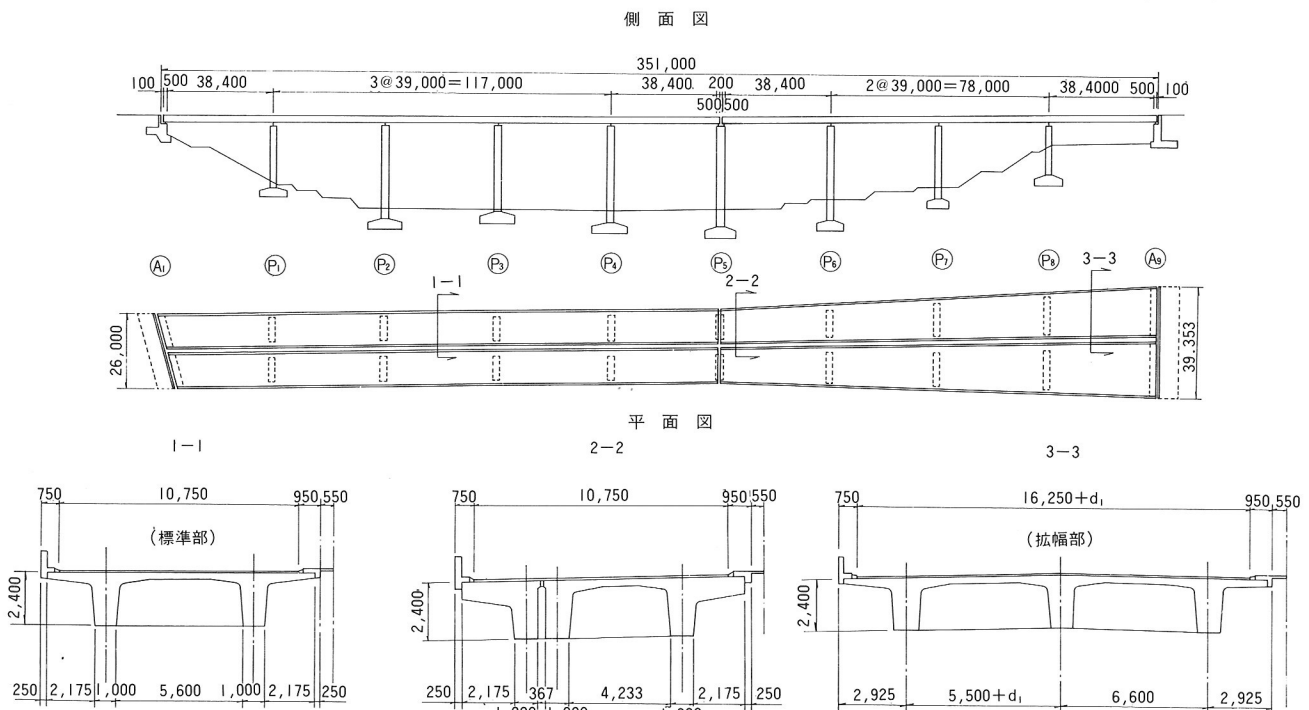


図-1 一般図および断面図

(文責・境 豊和)